

(別紙4(2))

事業所名 宅老所・グループホーム今井あんきの家

目標達成計画

作成日: 平成 30年 1月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	様々な想定 of 災害訓練をくり返し実施し、全職員が避難対策の方法を体得する。	少なくとも年4回災害、地震、水害時やがけ崩れなどにおいて、昼夜の想定による避難訓練を計画実施する。全ての職員が参加できる実践に即した訓練を設定し実施する。地域の方々の参加協力を仰ぎ、地域と一体化した訓練を実施する。	12ヶ月
2	10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の訴えに耳を傾け、また家族との連絡を密にして疑問や要望を受け止める機会を増やし、それを職員間で検討していく。	定期的な施設の便りた利用者の生活状況を伝える便りや通信を充実させ、施設の情報を具体的に提供する。季節の行事や運営推進会議などの参加をお願いし、自由に発言していただける機会を設ける。家族会を開催し家族の思いを的確に受け止める機会とする。	6ヶ月
3	49	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者の理解を深め、利用者個々に適した方法を選択しながら外出する機会を増やす。	日々の利用者の体調に留意し、気候に合わせて近隣への散歩から始める。市町や地域で行われる季節行事への参加や花めぐりなど、季節感を感じられるお出かけを実施する。定期的な買い物支援によるお出かけや、屋外施設でのピクニックランチやカフェに出かける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。